

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月31日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0272501073
法人名	社会福祉法人貴望会
事業所名	グループホームみほの
所在地 (電話番号)	〒039-4141 青森県上北郡横浜町三保野54番地 (電話) 0175-78-6640

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年2月17日	評価確定日	平成22年3月31日

【情報提供票より】(平成 22年 1月 25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 8月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算 14人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	6,000~9,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

### (4) 利用者の概要( 1月 25日現在)

利用者人数	17 名	男性 2 名	女性 15 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名
要介護3	1 名	要介護4	8 名
要介護5	4 名	要支援2	名
年齢 平均	84.7 歳	最低	75 歳
		最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ちびき病院、橋本歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは横浜町の郊外に位置し、周囲は広大な田園風景が広がっている。ふれあいセンターや児童館が隣接し、催し物に参加したり児童館の子供達とのふれ合いもあり、地域交流を大切にしている。利用者の希望で随時外出の機会を設け、利用者が楽しく快適に生活出来るようケアに取り組んでいる。
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題については、全職員で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	日々のケアを振り返りながら、全職員で取り組みサービスの質の向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	10月と3月、運営推進会議を開催し、ホームの取り組みや行事、外部評価の報告などをし参加者と情報交換している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	玄関に苦情処理ポストを設置している。家族の電話や面会時、意見や不満、要望など会話をしながら引き出すよう心掛けている。苦情があった場合はすぐに対応出来るよう心掛けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	買い物や外出、地域の行事に積極的に出向き地域とのふれ合いを大切にしている。依頼があれば介護教室の認知症の講師として認知症普及活動に取り組んでいる。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型の理念を盛り込んだ独自の理念を作り上げ、ケアに取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝のミーティング時に理念を確認しあっている。また、情報を共有し日々のケアに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の行事などに参加し交流の機会を設けている。また、隣接している児童館の子供達と敬老会でプレゼント交換をしたり、近隣住民と声を掛け合うなどし地元の人々との交流も大切にしている。介護教室などの勉強会にも講師として参加している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価の意義を理解し、外部評価結果をもとに改善に向けて対策を検討し取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	特に問題や議題が無く、半年に1回の開催となっている。		定期的な開催に向けて、グループホームの様子などを報告することから始め、そこから委員の意見や話し合いが広がり、会議が有効に機能していくことに期待したい。
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と運営上の相談、情報交換などを行っている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、制度を利用している方がおり、全職員を対象に制度に関する研修を行い、理解を深め支援している。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事例をもとに勉強会を開催し、日々虐待防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書、契約書に基づいて、家族にわかりやすいように説明している。特に重度化、入院時の対応について詳しく家族に説明し同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時に暮らしぶりや身体状況について報告し、面会が少ない家族へは電話で定期的に報告している。また、金銭面については3ヶ月毎に領収書と共に出納の内容を家族へ報告し確認を得ている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族との電話や面会時、意見や不満、要望など会話をしながら引き出すように努めている。苦情があった場合はすぐに対応するよう心掛けている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は必要最小限としているが、やむを得ず異動があるときは引き継ぎの時間を設け、利用者が安心して生活出来るよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	3ヶ月に1回グループホーム内で勉強会を開催している。外部研修へも参加する機会を設け、参加者は職員への報告会を行っている。		勉強会は行われているが、年次研修計画書などを作成し、計画的に研修することが望まれる。
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の研修、交流会に参加し情報交換することで、サービスの質の向上に繋げている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	安心してサービスが利用出来るよう、見学や体験利用してもらうことで馴染めるように工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員はこれまでの生活経験による知恵を教えられたり、助言をいただくなど、利用者から学ぶ気持ちを大切にし、コミュニケーションを図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>意志疎通出来ない利用者にも寄り添い、気持ちを汲み取れるよう心掛けている。家族へも確認し、利用者本位であるよう対応している。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎にカンファレンスを開催し、本人、家族の意向をふまえ、全職員で話し合い、介護計画を作成し家族の同意を得ている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者に状態変化があったときは、現状に合わせた介護計画を作成している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者、家族の希望に応じて外出、外泊、受診などの送迎の支援を行っている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診を継続して行っているが、希望により専門医を受診することもある。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合でも、可能な限り住み慣れたホームで生活出来るよう、機能設備を整えたり、家族と話し合いを行ったり全職員が方針を理解し対応している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーについては入社時に職員に説明し同意書をとっている。記録などの個人情報に関してはキャビネットに入れ保管している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよその日課はあるが、一人ひとりのペースを大切にし、出来るだけ希望に添えるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>併設施設で調理された料理を利用者と職員が台所で一緒に盛りつけ、テーブルに運んでいる。利用者と職員が同じ食卓を囲み、食事と会話を楽しんでいる。片付けも役割分担があり、利用者と一緒にしている。おやつはホームで作り、楽しみの一つとなっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望に添って対応している。体調が優れない方や通院などで入浴出来ないときは、別の日に入浴している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの能力、残存機能にあった役割がある。重度化してきているが、プランター栽培の手入れなど、出来る範囲での役割と収穫の喜びを感じられる支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>地域の行事に参加し出掛けている。買い物などの希望者は、その都度一緒に外出している。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内での勉強会を設け身体拘束について学んでおり、絶対に身体拘束はしない、という強い心でケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が見守ることで日中は施錠していない。夜間のみ安全対策のため施錠している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を実施しており、災害時の食品、備品も準備している。「災害時体制」という連絡図も作成され、災害時スムーズに対応できるよう備えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養バランスに配慮し栄養士が作成し管理している。食事記録にて摂取量を把握している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成し、予防法を職員間で周知している。日々のうがい、手洗いを励行し予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>装飾は季節感のある物を取り入れるなど工夫している。テレビの音や温湿度などに配慮され、居心地良く過ごせる工夫をしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物の持ち込みを勧め持参して頂いている。居室には写真などが飾られ、その人らしい部屋となっている。</p>		

 は、重点項目。